

自然環境保全に関する基本的な考え方 (案)

令和8年3月2日
兵庫県まちづくり部公園緑地課



■ 基本方針

「淡路島の里地里山の良好な自然環境の保全を目指す公園」をテーマとして設定し、あわじ石の寝屋緑地に残されている、里山林、湿地、草原等、里地里山の多様な自然（生態系）の適切な管理（順応的管理）を継続していく。

■ 実施方法

○ゾーニング図の作成と保全目標の設定（P2～4）

- ・現状の自然樹林管理に係るゾーニング図（ゾーニング図A）の作成
- ・生態系管理及び活用のための整備に係るゾーニング図（ゾーニング図B）の作成

○樹木伐採に関する合意形成・情報発信の新たなルールは設定しない

- ・あわじ石の寝屋緑地の樹木管理方針等を尊重し、管理水準書に基づいた管理を、現行と同様の方法で実施する。
- ・樹木伐採に伴う生態系への影響を考慮するため、事前調査・事後調査の実施を検討する。

○自然共生サイトの再申請（P5）

- ・現地で活動する管理運営協議会と県の合同で申請を行う。



- 適正な自然環境保全を行うため、ゾーニング図を作成する。
(現状の自然樹林管理に係るゾーニング図Aと生態系管理及び活用のための整備に係るゾーニング図Bを作成)
- 適切な順応的管理のため、各ゾーンの目標（目標生態系・目標植生・保全目標種など）を管理運営協議会等において設定する。保全手法は随時見直しながら進める。ゾーニングおよび目標の変更をおこなう場合は、管理運営協議会等において合意形成をはかる。

○樹林管理に係るゾーニング区分（ゾーニング図A）

・樹林管理について、管理水準書で定める**自然樹木管理**をベースに整理する。

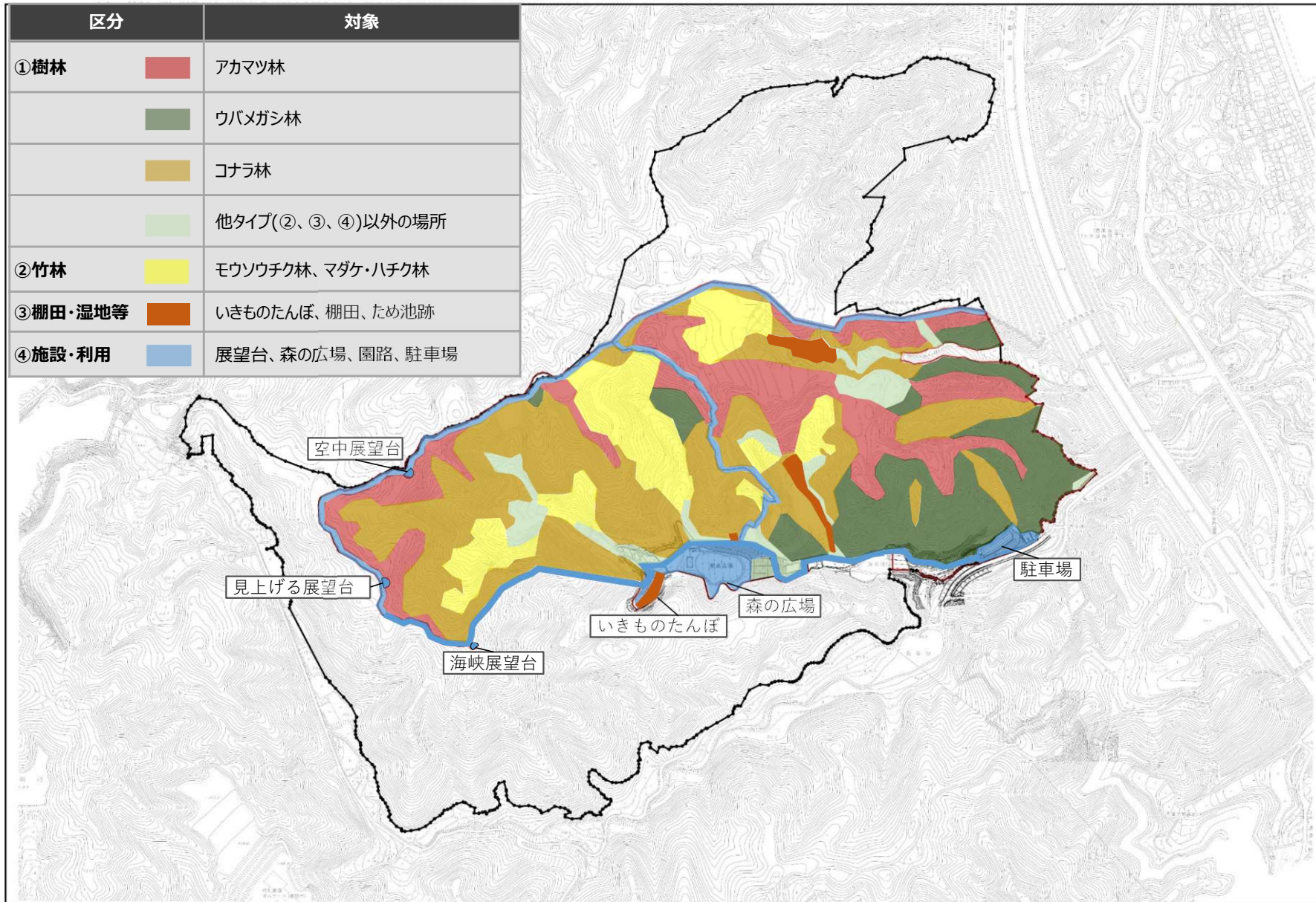
区分	対象	管理の方法	想定される実施主体
樹林	アカマツ林、ウバメガシ林、コナラ林、他の対象物以外の場所	風倒、腐朽等の危険木処理等を行う。 保全のための間伐を行う。	県・指定管理者・住民団体・ 淡路景観園芸学校
竹林	モウソウチク林、マダケ・ハチク林	定期的な間伐により、適切に維持する。 場所によっては、除伐→林相転換	
棚田・湿地等	いきものたんぼ、棚田、ため池	整地、耕作、草刈り、水施設の管理など、維持管理を適切に行う。	
施設・利用	展望台、森の広場、園路、駐車場	園路や展望台等隣接する施設の利用状況に応じた適切な樹木管理を実施する。	

○生態系管理及び活用のための整備に係るゾーニング区分（ゾーニング図B）

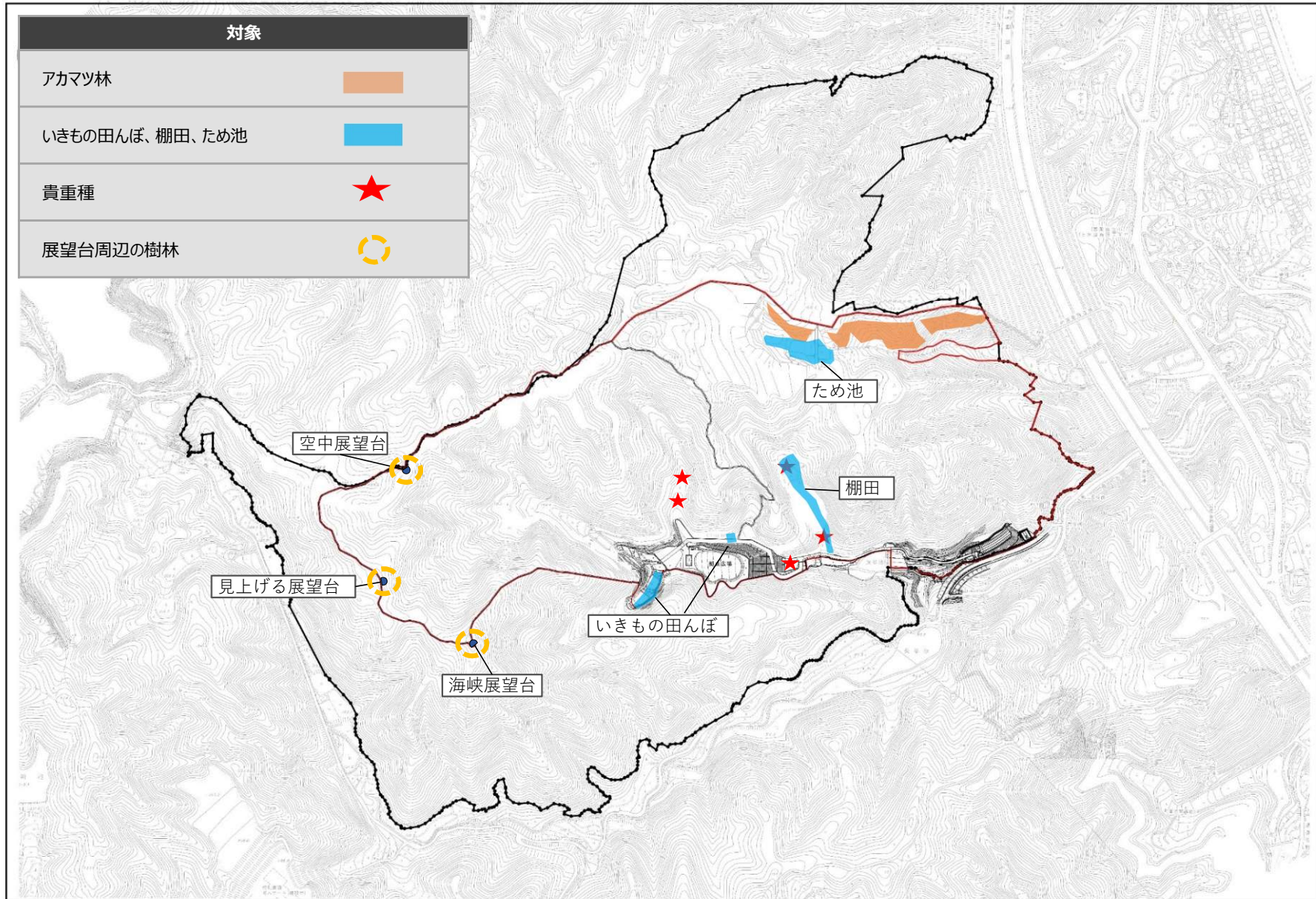
・生態系管理及び活用のため、今後、重点的に樹林伐採等の整備を実施するエリアを図示。

対象	管理の方法	想定される実施主体
アカマツ林	混成する照葉樹等の伐採、育ちすぎた樹木の間伐	県・指定管理者・住民団体・ 淡路景観園芸学校
いきものたんぼ	周囲の樹木、集水域の樹木伐採等による湿地環境の改善	
棚田、ため池	機能回復のための整備・補修	
貴重種	各々に応じた保全方法を検討のうえ実施	
展望台周辺の樹林	展望台からの眺望確保及び展望台周辺の里山林の更新（保全）を両立するため、眺望景観の支障となる樹木の伐採等を実施するなど、低林管理を行う。	

■ あわじ石の寝屋緑地ゾーニング図A



■ あわじ石の寝屋緑地ゾーニング図B (※生態系管理及び活用目的により樹木伐採等を優先するエリア)





活動についての申請が必要であることから、現地で活動する管理運営協議会と県の合同で申請を行う。

申請項目	前回申請時	次回申請時
申請主体	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島公園・あわじ石の寝屋緑地管理運営協議会（環境保全部会） ・（兵庫県）
連携団体	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物の良好な生育環境 ・希少種の保全 ・里地里山環境を活かした環境学習 ・近隣大学の研究対象地 	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物の良好な生育環境の回復 ・希少種の保全 ・里地里山環境を活かした環境学習 ・近隣大学の研究対象地